

障がい者ピアサポート研修を受講して。

少し前の話になりますが、NPO法人Peer Do様主催の「障がい者ピアサポート研修」に参加する機会を賜りました。

「ピア」という言葉は英語の **peer** で、「仲間」や「対等」というような意味があります。また、「サポート」という言葉は英語の **support** で、「援助」や「支援」という意味があり、仲間や同じ悩みをもった人を支えるのが「ピアサポーター」です。

研修は、私と同じようにピアサポート制度を法人として取り入れるために参加した方、当事者として参加した方が一緒に学びを深めていくというもので、いわゆる「講義」というようなものではなく、グループワークを中心としつつ、当事者として講師をされている先生からリアルな体験をお話いただくという貴重な時間もありました。

今回、私は同じ福祉創造株式会社のサービス付高齢者向け住宅「光明。」で当事者として働くスタッフと一緒に参加をさせていただきました。普段は配属されている事業所が違うため、たまに顔を合わせるぐらいの接点しかありませんでしたが、この機会に当事者として働いているスタッフの想いを知るに良い機会となりました。

ピアサポーターとして働く方々は、自身が同じ当事者としての目線で仲間を支える中で、ピアサポーター本人自身を支える職場環境や職場の職員の理解が大切であることを今回あらためて感じました。そして、今回得た経験は、当事者ではない私でも、ファーストに利用者として通う方と接する際に安心につながるものと思っております。これから一歩目を踏み出そうと思われている方はぜひ一度、お話だけでも良いのでファーストにお立ち寄りください。

ファースト 山田